

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業				会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課					
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり	主管課長	石井 由美子					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	ひとり親家庭の父母等及びその児童	意図	ひとり親家庭等の経済的負担及び精神的不安の軽減を図り、ひとり親家庭の父母等の福祉の増進に資する。
事業内容	ひとり親家庭の父母等及びその児童に係る保険医療給付の一部負担金額の一部等を助成する（所得制限は児童扶養手当に準じる。）。			
事業開始から現在までの状況変化	子ども医療費助成制度の拡大により、申請件数は減少傾向にあるが、1人あたりの医療費は増加傾向にある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	申請件数	11,612	10,195	10,065	件
②	延受給世帯数	1,998	1,788	1,729	世帯	\\	現年度/前年度
③	助成額	28,898	25,205	25,136	千円	\\	現年度/前年度
④							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	37,648,189	33,461,126	41,027,695
事業費(b)(円)	31,773,989	27,633,126	32,568,695
うち一般財源	22,575,167	19,440,311	21,822,433
職員給与費(c)(円)	5,874,200	5,828,000	8,459,000
人役・職員(人)	0.60	0.60	0.90
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	1.00	1.00	1.00
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
 父母等への医療費負担の軽減が主となっている。
 子どもに対する医療費助成は、子ども医療費助成制度に基づく自己負担金への助成が多いため、金額が少ないが、保護者に対する助成は増加傾向にある。
 一月当たり平均900件前後の請求があり、全て償還払いのため事務処理が煩雑となり時間を要する。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	ひとり親家庭等の医療費助成により、その経済的負担の軽減を図る一方で、自立支援施策の拡充により、経費の節減に努める。	③取組の課題	県内市町村の現物給付への要望が少ないため千葉県への移行が整わない。現物給付に移行した場合、さらに医療費の増加が見込まれる。
②今年度(H27)に実施した取組	千葉県に現物給付への移行を継続して要望している。	④今後の改善計画	引き続き現物給付への移行を千葉県に要望する。